

大震災 住民の支援紹介

新庄村長、外国人らに



災害対応や地域防災の在り方を話し合う「アジア相互扶助災害医療ネットワークフォーラム」が16日、新

庄村ふれあいセンターで開かれ、アフガニスタンやミャンマーなど6か国の民間活動団体（NGO）代表や医師会長ら7人と、国際医療NGO「AMDA（アマダ）」（本部・岡山市北区）

意見を述べ合う参加者たち
（新庄村ふれあいセンターで）

の菅波茂理事長らが意見を交わした。

AMDAの呼びかけで開催。笹野寛村長が東日本大震災被災地への村民挙げての支援活動について話した後、村消防団の稲田泰男団長が消防団の活動事例や訓練を紹介するなどした。

意見交換では、住民の安全・安心を守る消防団への質問や感想が集中。NGO代表らからは「どのようにしてボランティアグループを形成してきたのか」「消防団が機能し、人々も普段からどう動けばいいか頭に入っている。素晴らしい」といった声が出ていた。